



音楽科「題材：音楽の要素の働き」 1年1組での実践

1 本時の授業について

○ 自分の考えをもつ手だて（前時に行いました）

鑑賞曲「魔王」の登場人物（子、父、魔王）ごとに、音楽の要素（音の高低と音色と強弱）がどうであるのかを学習プリントに記入させることによって、音楽の要素を根拠とした登場人物の心の変化についての自分の考えをもてるようにしました。

○ 仲間と対話をして考えを深める手だて

グループでの話合いの際に、小ホワイトボードに一人一人の考えを集約して検討することにより、音楽の要素を根拠とした登場人物の心の変化についての考えを深めることができました。

2 授業の様子

前時、鑑賞曲「魔王」の登場人物である子、父、魔王ごとに、音の高低、音色、強弱といった音楽の要素がどう変化しているのかを、右の学習プリントに記入させました。生徒は、学習プリントに音楽の要素の変化を記入したことで子、父、魔王の心の変化を考えやすくなり、自分の考えをもつことができました。

本時は、グループで話し合い、音楽の要素を根拠とした登場人物の心の変化についてまとめました。生徒は、一人一人の考えを聞きながら、音楽の要素から子、父、魔王の心の変化をまとめようとしていました。

根拠までまとめきれないグループもありましたが、一通り時間を取った後、まとめ切れていないところを考える時間を取ったので、ほとんどのグループがまとめることができました。

グループの考えを発表し合う活動では、発表された考えと違う点のみを発表するようにさせたので効率よく発表することができ、また、考えが異なっている点がよく分かり、それによって、考えが深まりました。

登場人物	元の音の高さ	音の高さの変化				音色の変化	強弱の変化
子	高 ↑	1	2	3	4	木々としたおそろいな感じ。	弱→強
父	中 →	1	2	3	4	穏やかなおそろいな感じ。	弱→弱→強
魔王	低 ↓	1	2	3	4	やさしいおそろいな感じ。	弱→強

活用した学習プリント

国語科「説明文：水の山 富士山」 2年3組での実践

1 本時の授業について

○ 自分の考えをもつ手だて

「構成、表現、内容」という3つの観点によって、説明文「水の山 富士山」における筆者の工夫についての自分の考えをもてるようにしました。

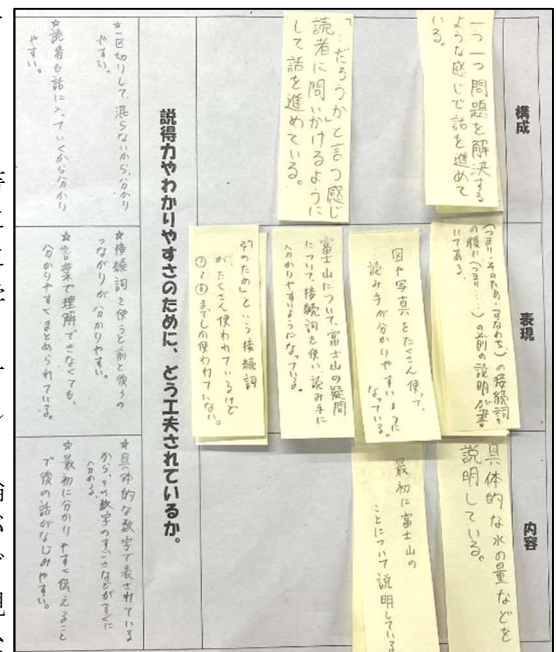
○ 仲間と対話をして考えを深める手だて

グループでの話合いの際に、個人で書いた付箋紙を「構成、表現、内容」という3つの観点で分類し、筆者の工夫の効果について検討することにより、筆者の工夫についての考えを深めることができました。

2 授業の様子

筆者の工夫について考えさせると、「数字や図を使っている」「具体的なデータが示されている」「序論、本論、結論の順で書かれている」「接続詞が多く使われている」「問い掛けるように問題提起している」などと、生徒は筆者の工夫について付箋紙に記入していました。生徒は、これまでの説明文の読解において学んだことから、自分の考えをもつことができました。

グループでの話合いでは、右の写真のように、まずは各自の付箋紙を「構成、表現、内容」という3つの観点で分類してしました。分類する際に、どの分類なるのか迷うことがありましたが、各グループで結論付けていました。その後の話合いでは、「序論での問い掛けで、話に入りやすい」「具体的な数字で、説得力がある」「接続詞をうまく使うと、つながりが分かりやすい」などの工夫の効果についての意見がよく出されていました。3つの観点で分類したことで、その効果についての話合いがしやすくなり、考えが深まりました。



グループで活用した学習プリント

家庭科「単元：衣服の選択と手入れ」 2年3組での実践

1 本時の授業について

○ 自分の考えをもつ手だて

既製の表示について調べた内容や、右のような教師が用意したテンプレートを活用することによって、表示から読み取れる衣服の特徴についての自分の考えをもてるようにしました。

○ 仲間と対話をして考えを深める手だて

グループでの話し合いの際に、自分の考えと異なる考えを、色ペンで記入することにより、衣服の表示から読み取れる衣服の特徴についての考えを深めることができました。

組成表示から、○○という
取り扱い表示から、○○と
サイズ表示から、○○という表示は□□という特徴があったから、衣服を買うときに☆☆について確認したら良いと考える。

教師が用意したテンプレート

2 授業の様子

生徒は、前時に共有した各自が調べた表示の意味や、教科書の参考ページを頼りに、表示から読み取れる内容を考えていました。中々考えられない生徒は、教師が用意したテンプレートを活用して考えていました。生徒は、自分の力に応じて、参考とする資料を選んで、右のような自分の考えをもつことができました。

④ 表示から分かったこの衣服の特徴は？

組成表示から、ポリエステルは、ペットボトルでつくられている化学物質からできているので、大量生産ができると思う。
組成表示から、ポリウレタンは、よく伸びる繊維なので、運動するときに着るといいと思う。
ポリエステルは、しめがけがいい。
取り扱い表示から、(△)漂白剤とは合わない。
組成表示から、ポリエステルは、縮みにくくて、毎日洗濯できるの、運動着として着るといい。

色ペンで書き加えた意見

記入した自分の考えや、話し合いで書き加えた友達の意見

グループでの話し合いでは、まずは各自の意見を聞いていました。そして、疑問に思うことを聞いて、さらに考えるグループもありました。多くのグループは、友達の意見を聞いた後に、友達が記入した物を見せてもらい、自分に足りなかった考えを、上の資料のように色ペンで書き加えていました。それにより、様々な考えを知ることになり、考えが深まりました。また、学級全体での発表を行うことによって、各班で取り扱った衣服の特徴を、表示と関連させて確認することができました。

社会科「単元：日本の地域構成 日本の諸地域」 1年9組での実践

1 本時の授業について

○ 自分の考えをもつ手だて

名産品や名所や伝統文化をモニターに映して見せることによって、地域の特徴についての自分の考えをもてるようにしました。

2 授業の様子

生徒は、モニターにどんな写真が映し出されるのか、集中して見ていました。そして、右のような名産品や名所や伝統文化の写真が映し出されると、これまで学習した都道府県に関する知識から、都道府県のどこなのかを考えていました。答えて正解の場合は、大変うれしそうにして、次の問題にやる気を見せました。中々答えられないときは、教師のヒントを頼りに考えて、「分かった！○○県だ」と答え、終始、意欲的に取り組むことができました。

例えば、マンゴーの写真に注目させ、「マンゴーはどういった所で収穫できますか」といった発問を投げ掛けることによって「暖かいから、九州地方だ」といったように、地域の特徴についての自分の考えをもてた場面もありました。

振り返りでは、本時の学習が復習できるプリントに取り組みせました。そこでは、写真ではなく文章から、都道府県を考えました。記入状況から、知識としての定着が分かりました。

マンゴー 地鶏 じどり
めんたいこ 太宰府天満宮 だざいふてんまんぐう
さくらんぼ しょうぎのこま

モニターに映した名産品や名所や伝統文化の例